

授業コード	14001	授業題目	学校教育論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火1
担当教員名	神山正弘			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	内			担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	現代学校の課題を実践的、理論的に解明することを目的とする。						
授業計画	子どもと社会。学校教育の制度とその経営。教育課程の編成。教育システムの改革。これらを内外の動向を紹介しながら解説する。						
達成目標(達成水準)							
授業時間外の学習							
教科書・参考書							
成績評価の基準と方法							

授業コード	14002	授業題目	学校経営論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火2
担当教員名	平井貴美代			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	844-8463			担当教員E-Mail			
授業テーマと目的	学校の経営過程や組織的特性に関する基本的事項について学習するとともに、開かれた学校づくりや学級崩壊など、最近とくに話題となっている問題についてアプローチするための視点や方法を検討する。						
授業計画	テキストの各章を分担して講読し、それに関わる実践上の課題を出し合う 1 オリエンテーション 2 プレゼンテーション用レポート作成のための演習 3～14 テキストの講読 15 学校経営論の授業をふりかえって(まとめ)						
達成目標(達成水準)	1 学校の経営過程や組織的特性に関する基本的事項を理解することができる 2 学校教育の諸側面について経営的・組織的観点から分析することの意義を知ることができる						
授業時間外の学習	テキストの分担箇所についてレポートを作成し、発表の準備をする 授業で扱うテキストを予め読んでおき、疑問点などを整理しておく						
教科書・参考書	小島弘道編著『学校教育の基礎知識[改訂版]』(協同出版、2002年)						
成績評価の基準と方法	成績評価は、授業中に行う発表内容や授業への参加状況から総合的に判断します						

授業コード	14004	授業題目	学習指導論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	金 1
担当教員名	馬場園陽一			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	088-844-8438			担当教員 E-Mail	babazono@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	<p>学習指導に関する教育心理学の理論的研究を紹介し、学習指導への実践的アプローチを試みる。 本年度は指導と評価の一体化を図るための教育評価の方法について探る。</p>						
授業計画	<p>①教育評価に関する理論的見解や教育実践に役立つ新しい教育評価の方法について紹介する。 ②受講生が自ら教育評価や学習指導に関する研究テーマを設定し、発表し、討論を行う。</p>						
達成目標(達成水準)	<p>自ら学ぶ意欲や確かな学力の育成において、指導と評価の一体化を図る授業づくりがいかに大切であるかを認識するとともに、その評価の方法についての技能を身につけることができるようになる。</p>						
授業時間外の学習	<p>自分の設定したテーマにしたがって調べ学習が求められるので、授業時間外の学習の時間がかかり必要である。</p>						
教科書・参考書	<p>特に指定していない。</p>						
成績評価の基準と方法	<p>出席回数とレポート作成、発表を総合して評価する。</p>						

授業コード	14005	授業題目	教育相談論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	集中
担当教員名	丹羽洋子			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	教育相談の心理学的基礎となる学校カウンセリング心理学の立場から、問題にアプローチする。						
授業計画	ロジャースの教育の3大原則にもとづいた問題ごとの子ども理解の仕方やそれに対する学校現場で使えるカウンセリングテクニックについて論じる。						
達成目標(達成水準)	子どもの心身の健康をより促進するかかわり方や、学校適応への回復を支援する実践的な力を獲得する。						
授業時間外の学習							
教科書・参考書							
成績評価の基準と方法							

授業コード	14006	授業題目	情報演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	集中	曜日・時限	
担当教員名	裏垣 博			担当教員所属	技術教育専修		
担当教員電話	8408			担当教員 E-Mail	uragaki@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	高度情報化社会に積極的に対応できる情報処理の基礎能力を身に付けた教員の養成を目的とする。						
授業計画	コンピュータとソフトウェアの基本操作ならびにネットワークの利用方法に関する演習を行う。Windowsの基礎、電子メール、文書処理及び表計算などよく利用される機能の学習に重点を置く。						
達成目標(達成水準)	授業計画に掲げた内容について、習熟する。						
授業時間外の学習	コンピュータを有効に活用するために、課外時間や自宅での学習を積極的に行う必要がある。						
教科書・参考書	授業時に紹介する。必要に応じてプリントを配布する。						
成績評価の基準と方法	出席状況を含む平常点とレポートを考慮して総合的に評価する。						

授業コード	14007	授業題目	情報演習Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	金2
担当教員名	普喜 満生			担当教員所属	理科教育専修		
担当教員電話	8420			担当教員 E-Mail	fuki@s.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	コンピュータの活用能力、情報処理に関する総合力を身につけることを目的として、講義と演習を行う。						
授業計画	ネットワークの設定およびその基礎知識の習得、メールやWebの利用、ホームページの作成、各種ソフトウェアの活用などである。						
達成目標(達成水準)	ある程度習熟した人を対象に、技能の修得に加え情報化社会の課題や情報リテラシ教育についても一緒に考える。						
授業時間外の学習	自前のノートパソコンを携行し、インターネットなども利用するとよい。						
教科書・参考書	特にないが、資料・プリント等を配布する。下記URLも参照のこと。 http://home.s.kochi-u.ac.jp/~fuki/H18/joho-in2.html						
成績評価の基準と方法	授業態度とレポートで評価する。						

授業コード	15301	授業題目	保健体育科教育特論 I			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火4
担当教員名	刈谷三郎			担当教員所属	保健体育専修		
担当教員電話	088-844-8391			担当教員 E-Mail	skariya@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	保健体育科教育の授業研究に関する基礎的研究の成果や諸問題を論じ、それらの授業分析への適応について論述する。						
授業計画	①保健体育科教育の基礎 ②論文講読 ③各自の課題に対してディスカッション ④組織的観察法についての講義 ⑤各自の課題研究にむけての検討						
達成目標(達成水準)	保健体育科教育学の基礎を習得すると共に、明確な課題意識を持ち取り組まれていること。						
授業時間外の学習	週1回のレポート作成に関する学習						
教科書・参考書	随時提示する						
成績評価の基準と方法	週1回のレポートと1学期のまとめレポートによる						

授業コード	15302	授業題目	保健体育科教育特論演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	火4
担当教員名	刈谷三郎			担当教員所属	保健体育専修		
担当教員電話	088-844-8391			担当教員 E-Mail	skariya@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	保健体育科教育の授業研究に関する内外の文献講読をするとともに、運動の学習指導の基礎理論を導き出すための実践例をとりあげ、授業分析や考察について演習を行う。						
授業計画	①論文講読 ②実践例を通してディスカッション ③組織的観察法を用いて授業分析を行う ④各自の課題に対して小論文としてまとめる						
達成目標(達成水準)	具体的課題に対して授業分析を行い、論文としてまとめてゆく力量を形成する。						
授業時間外の学習	週1回のレポート作成に関する学習						
教科書・参考書	随時提示する						
成績評価の基準と方法	週1回のレポートと2学期のまとめ小論文作成による						

授業コード	15303	授業題目	保健体育科教育特論Ⅱ			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	集中
担当教員名	神家一成			担当教員所属	保健体育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	保健体育科教育の基本的あり方や、今日の急激な社会変化に伴って求められている新しい保健体育科教育のあり方について論究する。						
授業計画	①保健体育科教育に関する著書購読 ②論文購読 ③課題に対してディスカッション ④レポート作成						
達成目標(達成水準)	保健体育科教育学の基礎を理解すると共に、今日の問題の論究に取り組むこと。						
授業時間外の学習	事前、事後学習、資料収集、レポート作成						
教科書・参考書	関連著書、学会誌、商業誌等の文献を随時提示する。						
成績評価の基準と方法	修学状況及び学期末のレポートを総合的に評価する。						

授業コード	15304	授業題目	保健体育科教育特論演習Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	集中
担当教員名	神家一成			担当教員所属	保健体育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	保健体育科教育の授業に関する文献を輪読するとともに、「運動の教育」「スポーツの教育」の視点に基づく授業分析について演習を行う。						
授業計画	①論文輪読 ②実践例を通して授業分析やディスカッションを行う ③分析及びディスカッションの結果をレポートとしてまとめる						
達成目標(達成水準)	保健体育科の授業を、視点に基づく分析を通して検討することができる。						
授業時間外の学習	事前、事後学習、資料収集、レポート作成						
教科書・参考書	関連著書、学会誌、商業誌等の文献を随時提示する。						
成績評価の基準と方法	修学状況及び学期末のレポートを総合的に評価する。						

授業コード	15311	授業題目	体育学特論 I			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	火 4
担当教員名	稲田 俊治			担当教員所属	保健体育専修		
担当教員電話	088-844-8392			担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	体育とスポーツにおける社会的諸問題に関することがらのなかで、とくに両者の相互関係の問題について、主要な構成要素を比較分析し、生涯スポーツの観点から統合的な解決策について論及する。						
授業計画	①今日のわが国における体育・スポーツの社会的問題をあげる。②その現状、その社会的背景、それを引き起こす主要な要因をあげる。③それらの問題の具体的な課題を明確にする。④体育や地域スポーツにおける具体的な解決策を考える。						
達成目標(達成水準)	体育とスポーツに関する問題の現状とその社会的要因の把握ができ、その具体的解決策が提示できる。						
授業時間外の学習	文献、資料の収集と分析を行なう。						
教科書・参考書	関連する文献、資料を随時提示する。						
成績評価の基準と方法	授業に対する取り組み方、文献や資料の収集・分析のレベル等を総合的に評価する。						

授業コード	15312	授業題目	体育学特論演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	火 4
担当教員名	稲田 俊治			担当教員所属	保健体育専修		
担当教員電話	088-844-8392			担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	体育・スポーツ社会学に関する内外の文献購読を行い、生涯スポーツ振興の諸条件や学校体育と地域スポーツの相互関係についての資料の収集、整理、考察を行う。						
授業計画	①近年の体育・スポーツ社会学に関する基本文献の中から、1~2冊を選び購読する。②それをベースにして、生涯スポーツ、学校体育、地域スポーツの振興や相互関係について考える。③関連資料を収集、整理し、まとまりのある論考を行う。						
達成目標(達成水準)	基本文献を購読し、そこからスポーツ事象に推論させていく力とさらに資料の収集、整理、考察する力を身につける。						
授業時間外の学習	文献の購読、資料の収集、整理、考察						
教科書・参考書	適宜、提示したり、指示をする。						
成績評価の基準と方法	授業に対する取り組み方、文献の内容の理解、資料の収集、整理などを総合的に評価する。						

授業コード	15313	授業題目	体育学特論Ⅱ			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	水2
担当教員名	辻田 宏			担当教員所属	保健体育専修		
担当教員電話	844-8709			担当教員 E-Mail	tsujita@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	受講生の興味・関心に基づき、体育・スポーツのマネジメント、スポーツ産業、体育・スポーツ法(Law)とスポーツなど、スポーツの社会科学的領域の中から、テーマを絞りながら論及する。						
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① オリエンテーション スポーツ・マネジメントの概念と内容 ② スポーツマネジメントの対象と業務 ③ スポーツ代理人ビジネス ④ スポーツと放映権ビジネス ⑤ スポーツにおける商品化権料とパブリシティ権 ⑥ スポーツ産業（経営）の現状と問題点 ⑦ スポーツ用品産業の現状と課題 ⑧ プロスポーツの制度と球団経営(1) 日米プロ野球 ⑨ プロスポーツの制度と球団経営(2) Jリーグ ⑩ 日本の体育・スポーツ法 ⑪ 諸外国の体育・スポーツ法 ⑫ 市民スポーツとスポーツ権 ⑬ 地域スポーツクラブ経営の現状と課題 ⑭ 総合型地域スポーツクラブの育成と行政 ⑮ まとめ 						
達成目標(達成水準)	スポーツの社会科学的領域に関する知識を深め、スポーツマネジメントとスポーツ法、スポーツ権と市民スポーツとが密接に関わっていることを理解する。						
授業時間外の学習	不断に講義に関する情報の収集に努めると共に、3つの中間レポートと最終レポートを提出するために必要な学習時間を確保すること。						
教科書・参考書	適宜紹介する。						
成績評価の基準と方法	中テーマごとに提出する3つの中間レポートと最終レポートをもって評価する。配点は、中間レポートが1回目10点、2回目及び3回目が各20点ずつ、最終レポートが50点。						

授業コード	15314	授業題目	体育学特論演習Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	水2
担当教員名	辻田 宏			担当教員所属	保健体育専修		
担当教員電話	844-8709			担当教員 E-Mail	tsujita@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	体育・スポーツのマネジメント、スポーツ産業、体育・スポーツ法(Law)とスポーツなど、スポーツの社会科学領域の中から、学生自ら自由に課題設定を行い、研究を深める。						
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>課題探求 前半サイクル (10月, 11月)</u> <ul style="list-style-type: none"> ① オリエンテーション ② 前半サイクル課題発表等 ③ 研究サロン PART①【※話題提供 2名】 ④ 前半サイクル中間成果発表 ⑤ 研究サロン PART②【※話題提供 2名】 ⑥ 前半サイクル最終成果発表 PART I ⑦ 前半サイクル最終成果発表 PART II ● <u>課題探求 後半サイクル (12月, 1月)</u> <ul style="list-style-type: none"> ① 後半サイクル課題発表等 ② 研究サロン PART③【※話題提供 2名】 ③ 後半サイクル中間成果発表【※忘年会?】 ④ 研究サロン PART④【※話題提供 2名】 ⑤ 後半サイクル最終成果発表 PART I ⑥ 後半サイクル最終成果発表 PART II ⑦ まとめ 						
達成目標(達成水準)	修士論文の基礎となる知識や研究方法を身につけると共に、論文やレポートの作成のための技術や方法を修得する。						
授業時間外の学習	課題解決やプレゼンテーションの準備等のためにかなりの授業時間外の学習を必要とするので、十分に確保しながら授業に臨むこと。						
教科書・参考書	適宜紹介する。						
成績評価の基準と方法	前半サイクルのレポート 30 点、プレゼンテーション 20 点、後半サイクルも同様の配点を行い、それらの総合点で評価する。						

授業コード	15324	授業題目	運動学特論Ⅲ			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	水 2
担当教員名	山田敦子			担当教員所属	保健体育専修		
担当教員電話	8426			担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	運動の特性、技術構造を運動方法論の立場から捉え、それらの成果を実践に反映させるための指導方法論をダンスを中心に論述する。						
授業計画	1、ダンスの文化論 2、ダンスの特性論 3、ダンスの構造論 4、ダンスの教育論 5、ダンスの研究論 を核として進めていく。						
達成目標(達成水準)	ダンスの特性、技術構造を理解し、学習者の発達特性に応じたダンスの教材、学習・指導、評価についての認識を深める。						
授業時間外の学習	ダンス作品鑑賞、発達段階別ダンス学習の実態に触れる						
教科書・参考書	ダンスの教育学 1～10、舞踊学原論、モダンダンスのシステム、舞踊学講義						
成績評価の基準と方法	ダンスの教育論に関するレポート作成によって、授業のテーマと目的の理解度をみる						

授業コード	15325	授業題目	運動学特論演習Ⅲ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	水 2
担当教員名	山田敦子			担当教員所属	保健体育専修		
担当教員電話	8426			担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	運動学に関する文献や資料の購読を行わせるとともに、運動方法論に関する資料を、特にダンスに関して収集整理し、考察の仕方について演習を行う。						
授業計画	舞踊学会、舞踊教育学会、体育学会等の紀要に掲載されている論文を購読する。						
達成目標(達成水準)	ダンスの研究論文を購読し、ダンスの特性、技術構造、学習者の発達特性に応じたダンスの教材、学習・指導、評価についての考察の仕方を修得する。						
授業時間外の学習	運動学に関する文献や資料の購読、ダンスに関する文献や資料の収集						
教科書・参考書	舞踊学会、舞踊教育学会、体育学会等の紀要に掲載されている論文等						
成績評価の基準と方法	修士論文作成のための基礎資料となる、ダンスに関する小論文を作成する。						

授業コード	15326	授業題目	運動学特論Ⅳ			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	木1
担当教員名	野地照樹			担当教員所属	保健体育専修		
担当教員電話	8424			担当教員 E-Mail	noji@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	運動の特性、技術構造を運動方法論の立場から捉え、それらの成果を実践させるための指導方法論を球技中心に論述する。						
授業計画	指導者論、技術論、戦術論、発育発達と一貫指導、コーチング論の順に講義を行う。						
達成目標(達成水準)	球技の指導方法論を深め、現場での指導計画を立案し、指導実践ができるようにする。						
授業時間外の学習	現場での観察と指導実践を行う。						
教科書・参考書	〔財〕日本サッカー協会 サッカー指導教本他						
成績評価の基準と方法	授業への出席状況、取り組み姿勢等総合的に評価する。						

授業コード	15327	授業題目	運動学特論演習Ⅳ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	木1
担当教員名	野地照樹			担当教員所属	保健体育専修		
担当教員電話	8424			担当教員 E-Mail	noji@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	運動学に関する文献や資料の購読を行わせるとともに、運動方法論に関する資料を、特に球技に関して収集整理し、考察の仕方について演習を行う。						
授業計画	指導者論、技術論、戦術論、発育発達と一貫指導、コーチング論の中から文献収集し、ゼミ形式の授業を行う。						
達成目標(達成水準)	球技の指導方法論を深め、現場での指導計画を立案し、指導実践ができるようにする。						
授業時間外の学習	現場での観察と指導実践を行う。						
教科書・参考書	〔財〕日本サッカー協会 サッカー指導教本他						
成績評価の基準と方法	授業への出席状況、取り組み姿勢等総合的に評価する。						

授業コード	15328	授業題目	運動学特論Ⅴ			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	火 6
担当教員名	駒井 説夫			担当教員所属	保健体育専修		
担当教員電話	844-8264			担当教員 E-Mail	komai@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	身体活動にともなう身体諸機能の変化を運動生理学的側面から捉え、これらの理論が体育・スポーツの実践の場にどのように応用されているか述べる。						
授業計画	運動生理学に関する最近の研究動向をトピックスとして紹介し、体育・スポーツ現場でどのように生かされているかを解説する。						
達成目標(達成水準)	最近の研究動向を理解し、運動やトレーニングに対して体がどのように適応し、また、この成果が体育・スポーツ現場で応用されているか理解する。						
授業時間外の学習	運動やトレーニングに関する情報に関心を持ち、積極的に文献収集する。						
教科書・参考書	トレーニングによる体の適応他						
成績評価の基準と方法	出席(20%)、および課題に対する積極的な関心とそれに対する理解度(80%)によって評価する。						

授業コード	15329	授業題目	運動学特論演習 V			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	火 6
担当教員名	駒井 説夫			担当教員所属	保健体育専修		
担当教員電話	844-8264			担当教員 E-Mail	komai@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	運動生理学に関するテキストを選定し、輪読する。さらに内外の文献講読も行う。						
授業計画	前半は最近発行された運動生理学・スポーツ生理学等のテキストを講読する。後半には学術誌・さらには商業雑誌を取り上げる。受講者は各文献の内容をまとめ発表する。						
達成目標(達成水準)	運動生理学及びその関連学問に関する知識の習得。 文献の検索、収集を積極的に行い、それらを的確にまとめ発表する。						
授業時間外の学習	運動やトレーニングに関する情報に関心を持ち、積極的に文献収集する。						
教科書・参考書	体育学研究、体力科学、教育生理等の学術雑誌 体育の科学、トレーニング論、コーチングクリニック等の商業雑誌						
成績評価の基準と方法	出席(20%)、および課題に対するまとめる能力・プレゼンテーション能力(80%)によって評価する。						

授業コード	15335	授業題目	学校保健特論Ⅲ			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	火 3
担当教員名	本間聖康			担当教員所属	保健体育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	児童・生徒の健康・体力に関する実態や問題点を、種々の文献や資料を通して明らかにする。						
授業計画	近年発刊された、学会誌、雑誌等の健康・体力に関する文献を取り上げ、実態や問題点を把握する。						
達成目標(達成水準)	健康・体力に関する実態や問題点を把握する。						
授業時間外の学習	健康・体力に関する情報に関心を持つ。得られた情報を整理する。						
教科書・参考書	特になし。定期的に発刊される学会誌、商業雑誌等を使用する。						
成績評価の基準と方法	出席及び課題に対する関心や理解等により総合的に評価する。						

授業コード	15336	授業題目	学校保健特論演習Ⅲ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	火 3
担当教員名	本間聖康			担当教員所属	保健体育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	学校保健特論Ⅲにおいて明らかにしてきた問題点の内容を検討・整理し、その解決のための方策について考察する。						
授業計画	学校保健特論Ⅲにおいて取り上げた学会誌、雑誌等の健康・体力に関する文献をもとに、問題点や課題を整理し、その課題解決のための方策について考察する。						
達成目標(達成水準)	健康・体力に関する問題点や課題を整理し、その課題解決のための方策について考察する。						
授業時間外の学習	健康・体力に関する情報に関心を持つ。課題解決のための情報を収集する。得られた情報を整理する。						
教科書・参考書	特になし。定期的に発行される学会誌、商業雑誌等を使用する。						
成績評価の基準と方法	出席及び課題に対する理解や課題解決のための取組等により総合的に評価する。						

授業コード		授業題目	保健体育科教育実践研究 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	火5
担当教員名	刈谷・神家			担当教員所属	保健体育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	実際の授業を対象として保健体育科における教育課題をとりあげ、科学的、実証的な検討を通して教育実践の改善方策を保健体育科教育学立場から研究することを指導する。						
授業計画	①研究内容(目的、方法)の検討 ②研究計画の作成 ③研究協力附属学校との打合せ ④実地研究活動 ⑥資料収集 ⑦資料分析・検討 ⑧研究報告書作成						
達成目標(達成水準)	一連の研究手続きに基づいた研究活動とその成果である報告書を作成する。						
授業時間外の学習	文献収集、資料収集、資料分析・検討、研究報告書作成等の研究活動全般						
教科書・参考書	関連著書、学会誌、商業誌等の文献を随時提示する。						
成績評価の基準と方法	研究過程における研究活動、研究課題に関する知識・理解、研究報告書等を総合的に評価する。						

授業コード		授業題目	保健体育科教育実践研究Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	2	開講時期	1学期	曜日・時限	
担当教員名	本間・稲田・山田・野地・駒井・辻田			担当教員所属	保健体育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	保健体育科教育に関する附属学校園等での授業研究を基に、教材の研究と開発、指導法について、保健及び体育学的視点から実証的に研究することを指導する。						
授業計画	①研究内容(目的、方法)の検討 ②研究計画の作成 ③研究協力学校・機関との打合せ ④実地研究活動 ⑥資料収集 ⑦資料分析・検討 ⑧研究報告書作成						
達成目標(達成水準)	一連の研究手続きに基づいた研究活動とその成果である報告書を作成する。						
授業時間外の学習	文献収集、資料収集、資料分析・検討、研究報告書作成等の研究活動全般						
教科書・参考書	関連著書、学会誌、商業誌等の文献を随時提示する。						
成績評価の基準と方法	研究過程における研究活動、研究課題に関する知識・理解、研究報告書等を総合的に評価する。						

授業コード		授業題目	保健体育科教育実践研究 I (長期インターンシップ)			単位数	2
授業種別		履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	
担当教員名	刈谷・神家・本間・稲田・山田・野地・駒井・辻田			担当教員所属	保健体育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと実践的な課題研究テーマの基盤を形成する。						
授業計画	教材開発、学級経営、児童生徒の観察、子供とのふれあいにもとづく単元計画作成、または LD、ADHD、不登校、乳幼児等子供の観察にもとづく実習計画作成を行う。						
達成目標(達成水準)	附属校園等において、各人が設定したテーマについて単元計画または実習計画を作成し、実践的な研究の基盤を形成することが出来る。						
授業時間外の学習	単元計画または実習計画の作成等。						
教科書・参考書	随時指示する。						
成績評価の基準と方法	単元計画または実習計画の内容、計画作成への取り組みなどをふまえ、実習校指導担当者との協議の上総合的に判断する。						

授業コード		授業題目	保健体育科教育実践研究Ⅱ(長期インターンシップ)			単位数	2
授業種別		履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	
担当教員名	刈谷・神家・本間・稲田・山田・野地・駒井・辻田			担当教員所属	保健体育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと、高度な専門知識・能力に裏付けられた実践的指導力を育成する。						
授業計画	単元計画の実施、研究会への参加、公開研究授業、または事例研究会への参加、ケース参加の実施を行い、結果を関連分野の研究方法にもとづき省察する。						
達成目標(達成水準)	各人が設定したテーマについて単元計画あるいは実習計画にもとづいて公開研究授業または事例研究等を実施し、結果を関連分野の研究方法にもとづいて省察することができる。						
授業時間外の学習	公開研究授業または事例研究等の準備。						
教科書・参考書	随時指示する。						
成績評価の基準と方法	単元計画または実習計画の実施、公開研究授業、事例研究会等への取り組み、報告書などをふまえ、実習校指導担当者と協議の上総合的に判断する。						

授業コード		授業題目	課題研究(保健体育)		単位数	4
授業種別		履修開始年次	2	開講時期	1, 2 学期	曜日・時限
担当教員名	刈谷・山田・稲田・本間・駒井・神家			担当教員所属	保健体育専修	
担当教員電話				担当教員 E-Mail		
授業テーマと目的	各自の継続的研究課題を設定し、研究計画・資料の収集及び分析などの諸活動を通して、研究の方法を指導し、修士論文へと発展させていくよう指導する。					
授業計画	①研究課題の設定 ②研究計画の作成 ③先行研究の検討 ④資料収集 ⑥資料分析・検討 ⑦結果の考察 ⑧修士論文作成					
達成目標(達成水準)	研究計画に従って資料を収集・分析し、結果に考察を加え、学術論文の体裁を整え、修士論文を完成させる。					
授業時間外の学習	文献収集、資料収集、資料分析・検討、研究論文作成等の研究活動全般					
教科書・参考書	関連著書、学会誌、商業誌等の文献を随時提示する。					
成績評価の基準と方法	研究過程における研究活動、研究課題に関する知識・理解、修士論文の内容及び発表力等を総合的に評価する。					